



## りんどう通信による情報発信を始めます

熊本県ハンセン病問題相談・支援センター、通称「りんどう相談支援センター」は、2020年4月より熊本県から熊本県社会福祉士会が受託し運営しています。

ハンセン病回復者及びその家族の福祉の増進を図ること、ハンセン病問題に関する啓発や人材育成を通じて、ハンセン病回復者及びその家族の人権を擁護し安心して生活できる地域づくりに貢献することを目的に、社会福祉士の資格を持つソーシャルワーカーが、ハンセン病回復者及びその家族の方からの生活に関する相談や様々な手続きに関する相談、お手伝い、情報提供等を行っています。また、県内各地で啓発活動の企画運営も行っています。

熊本県には、現在国立療養所菊池恵楓園があり、かつては私立ハンセン病療養所、回春病院、待労院がありました。ハンセン病が身近であるがゆえ悲しい出来事も沢山ありました。熊本にいる私たちだからこそ、偏見や差別によって人が人を傷つけてきた歴史を「私たちの問題」として学ぶことで、ひとりひとりがかけがえのない存在として大切にされる社会づくりの「未来につなぐ担い手」になれる可能性があると思います。

これからも、りんどう相談支援センターは、ひとりでも多くの方に「未来につなぐ担い手」になっていただけるように、活動・情報発信を続けていきます。よろしくお願いたします。

## 家族補償金の申請期限が令和11年まで延長されました

回復者家族等への補償を目的とした「ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律」が令和元年11月22日に公布・施行され、補償金の請求期限は令和6年11月21日までとされていましたが、**請求期限が令和11年11月21日まで5年延長**されました。

### ハンセン病元患者のご家族へ

対象となる方々に「補償金」を支給します。  
秘密は守られます。

(ア) 配偶者（事実婚も含む）	補償金額 180万円
(イ) 親、子	
(ロ) 親、子の配偶者及び配偶者の親・子等	
(ハ) 兄弟姉妹	補償金額 130万円
(ニ) 祖父母、孫	
(ホ) 祖父母、兄弟姉妹・孫の配偶者及び配偶者の祖父母、兄弟姉妹・孫等	
(ヘ) 養親、養子、養孫	
(ニホ) 養親、養子、養孫、おじ、おば、おひい、おひい、おひい	

※ 同居など一定の条件が必要場合があります。

厚生労働省 補償金相談窓口

電話番号 03-3595-2262

受付時間 10:00~16:00  
（受付日曜・祝日、年末年始を除く。）

厚生労働省

請求期限が令和11年（2029年）11月21日まで延長されました。

補償金の請求件数が想定より少ない数にとどまっていますが、補償金制度を知らない、回復者の家族であることを周囲に知られたくない、回復者自身が様々な事情により元患者であることを家族に伝えていないことなどが挙げられています。

りんどう相談支援センターでは、守秘義務のある社会福祉士の資格を有する相談員が、プライバシーに配慮しつつ相談・支援を行っています。具体的には、他の家族に知られたくない請求者に対しては、当センターや自宅以外の場所で相談を受けたり、ハンセン病関係と分からないように無地の封筒で資料を送付するなどの配慮を行っています。

今後も補償金の請求に際して、よりきめ細やかな対応を行って参ります。詳しくは、当センター096-365-7606までお気軽にお問い合わせください。また右のQRコード厚生労働省HPも見ることができます。



## 2024年度の主な啓発活動

### 菊池恵楓園で学ぶ旅

7/25 菊池恵楓園 小中学校親子 62名参加 8/27 同園 一般・高校生 81名参加

ガイダンス映像を視聴後、歴史資料館見学～園内を歩いて各施設を見学し、その後、志村康自治会会長のDVD視聴、太田明自治会副会長による講話をいただきました。

### 「風の舞」上映会

10/12 市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市） 81名参加

10/25 ホテル大黒屋（八代市） 17名参加 10/26 御船町カルチャーセンター 35名参加

ハンセン病ドキュメンタリー映画「風の舞」視聴後、宮崎信恵監督の講演が行われました。監督自身の映画制作への思いを語られ、簡単な知識はあったが関わってこなかったことへの許しを請いながら映画をつくったこと、この映画が偏見や差別のない社会をつくる契機となると良いとお話いただきました。

### ハンセン病療養所の将来と未来につなぐ講演会

11/16 山鹿市民交流センター 68名参加

山鹿市立菊鹿中学校による学習発表『私たちにできること～ハンセン病問題の学習を通して～』が行われ、約20年間にわたってハンセン病問題の学習に取り組んできたこと、物事を正しく理解し行動することが自分たちの日常生活にも求められており、皆が安心して笑み合える学校をつくっていきたくと力強く発表していただきました。次いで、長島愛生園歴史館の田村朋久氏による講演『記憶をつなぐ～長島愛生園歴史館（岡山）の取り組み～』、引き続き、同氏及び回復者・ひまわりの会会長の中修一氏によるトークセッション『経験を未来に伝える』が行われました。

### 人権擁護委員人権問題特別対策講習会

1/31 熊本地方法務局 県内人権擁護委員等 22名参加

りんどう相談支援センターの西章男副センター長が、『私たちのハンセン病問題～あなたは私、私はあなた～』というテーマで、熊本のハンセン病問題の歴史から、ハンセン病問題を私たちの問題として自分自身に向き合い、自分と他者の「痛み」「苦しみ」を看過（見てみないふり）しないことの大切さ、人が傷つくことを良しとしない価値観をひろく共有し、人の痛みに共感する心と対話をつうじて「あつい壁」を越えていく必要性などについて講話を行いました。

### 第9回熊本県ハンセン病医療・福祉研修会

2/7 菊池恵楓園 医療・福祉分野従事者・学生 34名参加

菊池恵楓園園長境恵祐氏による『ハンセン病、菊池恵楓園について』の講話、同園福祉課村山智子氏による『生活面のサポートについて』の講話、同園歴史資料館学芸員原田寿真氏による『未来に伝えていくために』の講話をいただきました。また、歴史資料館の見学、VRによる園内各施設の見学が行われました。

参加者からは、「差別をなくすためにはまずは知ること、正しい情報を伝えていくことが大切だということに気付かされました。」など共感の声がアンケートで寄せられました。

## 2025年度 第19回ハンセン病市民学会交流集会in熊本

### テーマ：「市民学会20年、さあ踏み出そう誕生の地から - 真の解決を目指して」

2025年5月10日（土）県立劇場 午前「ハンセン病基礎講座」 午後「総会、交流集会（全体会）」

2025年5月11日（日）菊池恵楓園

- 午前「分科会」
- ①療養所の将来構想・永続化について考える
  - ②家族問題の啓発を推進するために
  - ③優生保護法問題を深める～被害の実態を学び、問題解決にむけてともに考える
  - ④未来に手渡すために～歴史資料館の取り組みと展望～
  - ⑤ハンセン病回復者が地域で暮らし続けるために

午後「まとめの全体会」（全体会后、オプションで菊池恵楓園資料館や園内見学、菊池事件現地調査予定）

※ 申し込み、問い合わせ先：ハンセン病市民学会 開催地実行委員会

096-322-2515（熊本中央法律事務所 伊藤）